

日時 令和6年10月18日
14時30分～

令和6年度 大阪府立日根野高等学校第2回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦
記録 実助 山崎 紫織

14:30～15:20

0. 授業観察を受けて

- ・本校では先生方は授業を気軽に見せてくれる
- ・会話をしながら対話的な授業を行っている
- 新学習指導要領で気をつけないといけないことはあるか
特にない。中学生からグループ学習の基礎を身につけているからずっとできる
プレゼンもすごく上手
- ・外部講師の先生（高齢の先生）から教育はサービスだと言われた
教育はサービスだと思うか
- 顧客＝生徒たちというイメージがある
顧客満足度＝生徒たちが求めている授業を提供するのはあながち間違っていない
先生はある程度それを意識していると思われる
- ・職業訓練校である看護学校では「教育はサービス」とされると成り立ちにくい
プロフェッショナルが育たない
- 世の中には型枠にはめる教育は間違っているがスタンダードになってきている
- ・校則が本当に必要なのか
自分でできるのであれば必要ではないが、自分を律せない人が多いと波及する
- 人は見かけで判断しない＝校則が必要ではないとなるが、人は見かけで判断をする

15:20～16:20

1. 校長挨拶

○進路希望調査結果、授業アンケート結果、クラブ加入率、働き方改革 等々

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）6名

泉佐野泉南医師会看護専門学校	副学校長	西田 好江 様
ひねのこども園	園長	神藤 吉伸 様（遅参）
泉佐野市立日根野中学校	校長	古谷 秋雄 様
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	師 啓介 様
大阪府立日根野高等学校	後援会役員	水上 寿香 様
大阪府立日根野高等学校	PTA 会長	庄司 直生 様

2) 事務局員（出席者）10名

校長	山本 好男	実習助手	山崎 紫織
教頭	川瀬 治彦		
事務長	松元 敏行		
首席	栗原 重彦		
首席	矢萩 友之		
教諭（教務部長）	大土 渡		
教諭（生徒指導部長）	木藤 耕平		
教諭（保健総務部長）	山口 清美		

教諭（進路指導部長） 堺 花野

3 実施要項の確認

- ・人事異動により協議会委員の変更があった
（イオンモール日根野ゼネラルマネージャー 横倉様 ⇒ 師様）

4 協議案件

2) 36 期生（今年度卒業予定者）の現在の進路状況について

【就職について】

学校斡旋就職希望 2 名・公務員 8 名ほど

800 件以上の求人票をいただいている（公開求人）、指定校求人は 19 件

1 名は鉄道関係もう一名は努力中

国家公務員 1 次通過が 2 名・大阪府警 3 名・消防 1 名・地方も 3 名

→1 年生から公務員試験の対策をして努力している

【進学について】

29 名が合格、119 名（52%）が内定合格、4 分の 1 が指定校、A0 は結果待ち

地域密着型で専門学校を受験している生徒が多い

年内入試の募集、総合型の種類が多い

どの入試方式で受けるのがいいのかをよく聞かれる

→教員が常に様々な受験を知っていく必要がある

年明けまで努力する生徒たちをどれだけ支えられるかが課題

決まった生徒のやる気を起こさせるためにセミナーなど開催する必要がある

3) 各分掌より報告

【教務部】

- ・教科書選定
進路実現に最も適した教科書の選定ができた
- ・この入試からオンライン出願・デジタル採点になる
- ・今年度はほとんどの教員がデジタル採点を利用→3～4 時間ほど時短に
- ・次の課題：Classroom で答案返却を導入できると紙の削減、時間の短縮にも繋がる

【生徒指導部】

- ・遅刻欠席が増えつつあった（体調が悪かったら学校に来てはいけないという時代）
→学校始業前、授業開始 1 分前にメロディーチャイムを流す
欠席や遅刻をすることでどうなるのかを生徒に考えさせている
欠席は 3～4 割減、遅刻はおよそ 3 割減
クラスで遅刻をしないような雰囲気を作っていけるように努力している
- ・懲戒件数も減ってきており、少しずつ良くなってきている
→なぜだめなのかを生徒たちに考えさせていくということをやっていこうと思う

【保健総務部】

- ・来週避難訓練で地震と火災の訓練を来週行う予定
- ・文化祭において PTA の方々のご協力をいただいている

- ・PTA 社会見学では午前中は近畿大学を見学、午後からは天王寺・鶴橋を散策
→評価は良かった

4) 質疑応答・意見交換

<委員>中学生に対してどのようなフォローをおこなっているのか

<回答>11/2 午後からオープンスクールを実施した

学校の説明を行ったり実際の日根野高校生と触れ合う機会を設けたりしている
学校合同説明会においてブース形式で中学生や保護者の方への説明を行っている
オンラインや SNS はできていない

外部での説明会だけでなく、個別に来ていただいて対応も行っている

<委員>遅刻数は月でどれくらい減っているのか

真面目にしている生徒に迷惑がかかっているのか

<委員>どうしても遅刻するときはあるのではないのか

<回答>今年度は 900 件ほど

月に 4 回以上の遅刻は早朝登校指導

遅刻理由確認書を帰宅前に提出するという流れで、減ってきている

厳しくすると遅刻を減らす事はできるが、欠席数が増える

上のバランス・意識を考えている

踏切で遅れた場合などは遅刻になっていない

保護者の方の反応はバラバラ

微妙な体調不良の報告が増えているから指導しにくい

→余裕を持って行動するよう指導するしかないか

<回答>遅刻多いのは特定の生徒

課程連絡をしたら遅刻は少し減っているというイメージはある

<回答>あと少し頑張れば間に合うという数が多い

<委員>コーナン側に近い踏切の方のイオンの駐輪場で日根野の高校生が原付バイクに乗るためにラップタオルを巻いて着替えているのを見かけるがその対応はどうしたらよいか

駅側の一角にも日根野高校生のスペースがあると警備員からの報告もあった

<回答>学校側で対応する、指導に行くことはたまにしているが

<委員>踏切での遅刻に対してなにか企業にお願いしているか

高架橋を作ってほしいという要望をだすのがいいのでは

<回答>お願いしていない、現状としては申告をすれば公欠にしている

<委員>看護系の学校は遅刻と欠席の数をよく見ているので、生徒に伝えてほしい

<回答>早速伝えます

5 連絡事項

次回第3回→令和7年1月17日（金）15：45～